

大阪府高校入試

数学2020年C問題



Supported by Gakushikan

高受ゼミG

高校受験

2020年度
大阪府 公立高校入試
(一般)

数学

C 1 : 雑題 8 問

高受ゼミ G

1 次の問いに答えなさい。

(1) $\frac{3}{8}a^2b \div \frac{9}{4}ab^2 \times (-3b)^2$ を計算しなさい。

(2) $\frac{6-\sqrt{18}}{\sqrt{2}} + \sqrt{2}(1+\sqrt{3})(1-\sqrt{3})$ を計算しなさい。

(3) 二次方程式 $(x-1)^2 - 7(x-1) - 8 = 0$ を解きなさい。

(4) 関数 $y = \frac{a}{x}$ (a は定数) について、 x の値が 3 から 5 まで増加するときの変化の割合が 1 であるとき、 a の値を求めなさい。

(5) 三つの袋 A, B, C があり、袋 A には玉が 8 個、袋 B には玉が 10 個、袋 C には玉が 4 個入っている。また、二つの箱 P, Q があり、箱 P には自然数の書いてある 3 枚のカード $\boxed{2}$, $\boxed{3}$, $\boxed{4}$ が入っており、箱 Q には奇数の書いてある 3 枚のカード $\boxed{1}$, $\boxed{3}$, $\boxed{5}$ が入っている。P, Q それぞれの箱から同時にカードを 1 枚ずつ取り出し、次の操作を行った後に、袋 A に入っている玉の個数を a 、袋 B に入っている玉の個数を b 、袋 C に入っている玉の個数を c とする。このとき、 $a < b < c$ となる確率はいくらですか。P, Q それぞれの箱において、どのカードが取り出されることも同様に確からしいものとして答えなさい。

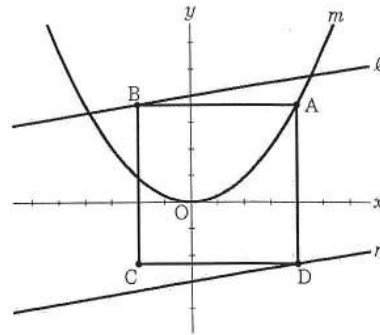
操作：箱 P から取り出したカードに書いてある数と同じ個数の玉を袋 A から取り出して袋 C に入れ、箱 Q から取り出したカードに書いてある数と同じ個数の玉を袋 B から取り出して袋 C に入れる。

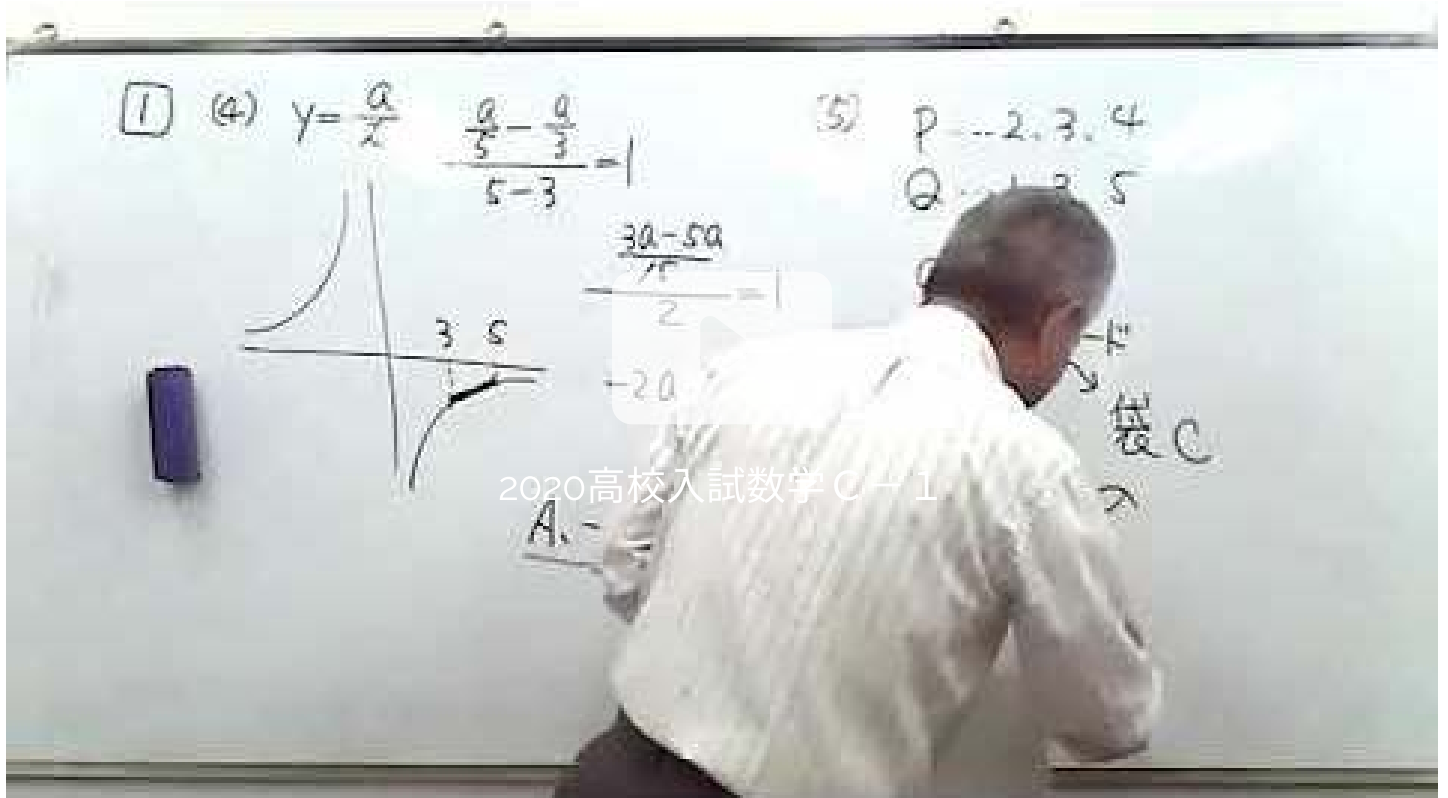
- (6) タケシさんは、過去10年間のY市の4月1日における最高気温を調べてその平均値を求めたが、10年のうちのある2年の最高気温が 2.6°C と 16.2°C であり、他の年の最高気温と大きく異なっていることに気が付いた。そこで、この2年を除いた8年の最高気温の平均値を求めたところ、新しく求めた平均値は、初めに求めた10年の最高気温の平均値より 0.3°C 高くなった。次の文中の に入れるのに適している数を書きなさい。

タケシさんが初めに求めた10年の最高気温の平均値は $^{\circ}\text{C}$ であった。

- (7) 次の二つの条件を同時に満たす自然数 n の値を求めなさい。
- $2020 - n$ の値は93の倍数である。
 - $n - 780$ の値は素数である。

- (8) a, b を正の定数とする。右図において、 m は関数 $y = ax^2$ のグラフを表し、 ℓ は関数 $y = bx + 4$ のグラフを表す。 n は ℓ と平行な直線であり、その切片は -3 である。四角形 $ABCD$ は正方形であり、辺 AB は x 軸に平行であって、辺 AD は y 軸に平行である。A は m 上にあり、その x 座標は4である。B は ℓ 上にあり、D は n 上にある。C の x 座標は -2 であり、C の y 座標はB の y 座標より小さい。 a, b の値をそれぞれ求めなさい。途中の式を含めた求め方も書くこと。ただし、座標軸の1めもりの長さは1cmであるとする。





高校受験

2020年度
大阪府 公立高校入試
(一般)

数学

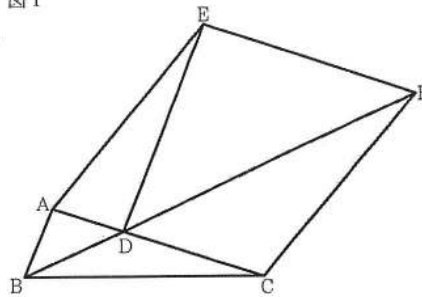
C2 : 平面図形

高受ゼミG

- 2 図 I, 図 II において, $\triangle ABC$ は内角 $\angle BAC$ が鈍角の三角形であり, $AB < AC$ である。
 $\triangle DAE \equiv \triangle ABC$ であり, D は辺 AC 上にあつて, E は直線 AC について B と反対側にある。このとき,
 $AB \parallel ED$ である。 B と D とを結ぶ。このとき, $\triangle ABD$ は $AB = AD$ の二等辺三角形である。 F は,
 E を通り辺 AC に平行な直線と直線 BD との交点である。 F と C とを結ぶ。
 次の問いに答えなさい。

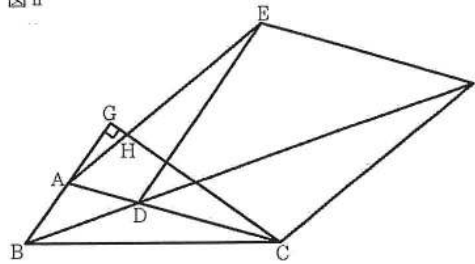
- (1) 図 I において, 四角形 $EACF$ は平行
 四辺形であることを証明しなさい。

図 I

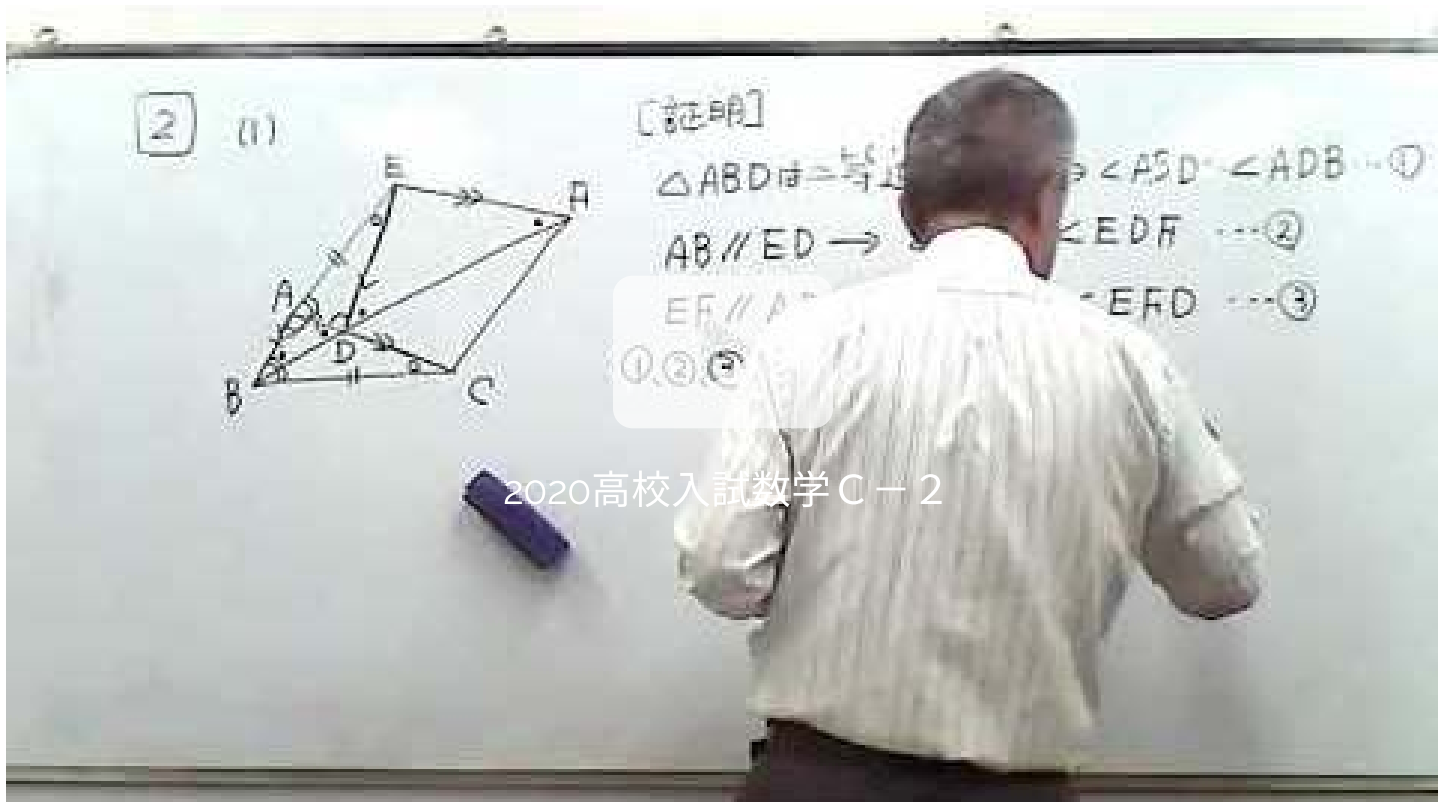


- (2) 図 II において, $AB = 2 \text{ cm}$,
 $AC = 6 \text{ cm}$ である。 G は C から
 直線 AB にひいた垂線と直線 AB
 との交点であり, $GA = 2 \text{ cm}$ で
 ある。 H は, 線分 GC と辺 EA との
 交点である。

図 II



- ① 辺 BC の長さを求めなさい。
- ② 線分 EH の長さを求めなさい。
- ③ 四角形 $EHC F$ の面積を求めなさい。



2020高校入試数学C-2

高校受験

2020年度
大阪府 公立高校入試
(一般)

数学

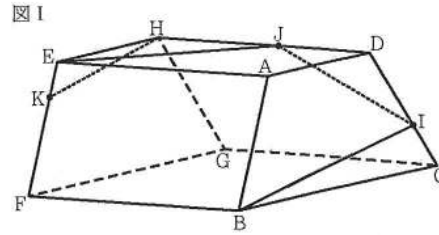
C3 : 立体図形

高受ゼミ G

- 3 図Ⅰ、図Ⅱにおいて、立体 $ABCD - EFGH$ は四角柱である。四角形 $ABCD$ は $AD \parallel BC$ の台形であり、 $AD = 4\text{ cm}$ 、 $BC = 8\text{ cm}$ 、 $AB = DC = 5\text{ cm}$ である。四角形 $EFGH \equiv$ 四角形 $ABCD$ である。四角形 $FBCG$ は1辺の長さが 8 cm の正方形であり、四角形 $EFBA$ 、 $EADH$ 、 $HGCD$ は長方形である。このとき、平面 $EADH$ と平面 $FBCG$ は平行である。

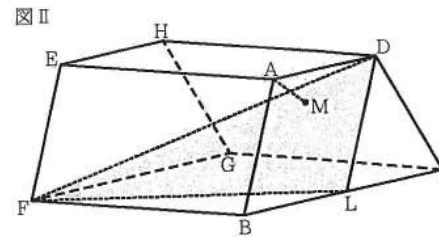
次の問いに答えなさい。

- (1) 図Ⅰにおいて、 I は辺 DC 上の点であり、 $DI = 3\text{ cm}$ である。 J は、辺 HD 上にあって線分 EJ の長さと線分 JI の長さとの和が最も小さくなる点である。 I と B とを結ぶ。 K は、 H を通り線分 IB に平行な直線と辺 EF との交点である。



- ① $\triangle EJH$ の面積を求めなさい。
- ② $\triangle IBC$ の内角 $\angle IBC$ の大きさを a° 、 $\triangle EKH$ の内角 $\angle EKH$ の大きさを b° とするとき、四角形 $ABID$ の内角 $\angle BID$ の大きさを a 、 b を用いて表しなさい。
- ③ 線分 KF の長さを求めなさい。

- (2) 図Ⅱにおいて、 D と F とを結ぶ。 L は、 D を通り辺 EF に平行な直線と辺 BC との交点である。 F と L とを結ぶ。このとき、 $\triangle DFL$ の内角 $\angle DLF$ は鈍角である。 M は、 A から平面 DFL にひいた垂線と平面 DFL との交点である。このとき、 M は $\triangle DFL$ の内部にある。



- ① 線分 DF の長さを求めなさい。
- ② 線分 AM の長さを求めなさい。

